

事業の実施計画と実施状況

事業計画	実施状況
<p>&lt;公益1&gt; 県民スポーツ・文化推進事業 1,054,754千円 (1,057,800千円)</p> <p>1 競技力向上 351,027千円 (346,735千円)</p> <p>(1) 競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 225,844千円 (232,475千円)</p> <p>① (新) 幼児の運動能力向上事業 1,440千円 (0円) 2 巡目国スポの少年選手世代となる園児の基礎運動能力の獲得を目指し、幼稚園・保育所・認定こども園に対して、幼児運動指導の専門家を派遣する。(10園)</p> <p>② 目指せトップアスリート! わかとりっこ育成事業 1,592千円 (1,592千円) 小学生を対象に、スポーツに触れる機会を提供する事で、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へと繋げ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため「わかとりっこ体験会」を実施する。(10競技)</p> <p>③ ジュニア指導者講習会 3,511千円 (3,511千円) ジュニア指導にあたる指導者を対象に講習会を開催することにより、指導者自身の資質向上と県内指導者間の指導方法の共有・周知を図る。(37競技)</p> <p>④ カテゴリー別合同練習会 8,638千円 (8,638千円) 小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、カテゴリーをまたいで合同練習会を実施する。進学により校種が変わる段階において</p>	<p>&lt;公益1&gt; 県民スポーツ・文化推進事業 920,520,076円 (875,033,058円)</p> <p>1 266,767,479円 (244,767,879円)</p> <p>(1) 215,692,588円</p> <p>① 1,687,695円 県内20園に幼児運動指導専門家を派遣。</p> <p>② 204,288円 ・わかとりっこ育成体験会 期 日 令和4年3月21日(月) 祝日 場 所 鳥取屋内プール 参加者 18名(小学生18名) 競技等 水泳(水球) ※複数競技による集合型の体験会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から中止し、密にならない人数と競技で開催。</p> <p>③ 2,845,079円 33競技(陸上、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート)</p> <p>④ 6,992,726円 36競技(陸上、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニ</p>

も、一貫した指導体制を維持し組織的な強化を図る。(37 競技)

⑤ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,800 千円 (4,400 千円)

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。(20 競技 24 クラブ)

⑥運動部活動活性化事業 28,563 千円 (28,209 千円)

- ・中学生選抜選手育成・強化支援 7,471 千円 (7,471 千円)

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより中長期的な選手育成と強化を図る。  
※中体連全専門部に対する事業実施 (20 競技)

- ・高等学校運動部指定合宿等支援 7,000 千円 (7,000 千円)  
各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。  
※A指定、B指定に区分をし、配分。(22 校 28 競技 67 部)

- ・高等学校運動部指定特別指導者確保支援 6,247 千円 (5,893 千円)  
指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。  
※城北：相撲、敬愛：バドミントン

- ・高等学校運動部指定外部指導者支援 7,845 千円 (7,845 千円)  
各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

⑦県外優秀アスリート受入支援事業 2,100 千円 (2,100 千円)

本県の県立高校へ入学する県外優秀アスリートの受入体制の支援を行

ス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)

⑤5,361,365 円

20 競技 24 クラブ (水泳 2、ボート 2、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操 2、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー 2、空手道、銃剣道、ボウリング、スケート、トライアスロン)

⑥24,784,177 円

- ・7,191,785 円

19 競技 20 専門部 (陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操、新体操、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー、スケート)

- ・6,705,500 円

22 校 28 競技 67 部

A 指定：36 部 B 指定：31 部

- ・6,247,000 円

2 校 2 競技 2 名

鳥取城北高等学校 相撲 レンツェンドルジ・ガントウクス

鳥取敬愛高等学校 バドミントン 日野由希江

- ・4,639,892 円

外部指導者支援 10 校 22 名

⑦1,450,000 円

八頭高等学校 (ホッケー部) に 5 名受入

う。 @25 千円×12 月×7 人 (ホッケー競技)

⑧特別ジュニア選手指定強化事業 39,128 千円 (36,996 千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(24 競技 26 種目)

⑨鳥取ジュニアアスリート選手育成強化事業 9,388 千円 (10,249 千円)

県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定された選手に対する強化育成。特別ジュニア選手指定強化事業から抽出。(10 競技)

⑩指導者の育成事業 3,537 千円 (3,537 千円)

全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。(26 競技 28 種目)

⑪大学部指定強化事業 550 千円 (550 千円)

協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。  
※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部へ配分する。  
(2 大学 6 部)

⑫社会人等選手指定強化事業 26,949 千円 (25,012 千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(26 競技 28 種目)

⑬成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円)

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。

⑧39,302,953 円

26 競技 (陸上、水泳、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、卓球、相撲、馬術、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、スキー、スケート、トライアスロン)

⑨9,355,396 円

10 競技 (ボート、ホッケー、レスリング、セーリング、自転車、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道)

⑩2,431,016 円

23 競技 (陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、ソフトボール、バドミントン、弓道、山岳・スポーツクライミング、カヌー、空手道、スキー、トライアスロン)

⑪150,000 円

1 校 1 部  
米子工業高等専門学校 (ヨット)

⑫26,353,440 円

28 競技 (陸上、水泳、テニス、ボート、ホッケー、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、卓球、軟式野球、相撲、馬術、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、ボウリング、スキー、スケート、アイスホッケー、トライアスロン)

⑬1,519,000 円

2 競技 2 クラブ  
バドミントン (チアフル鳥取)

※チアフル鳥取（バドミントン）・米子クラブ（アイスホッケー）へのチーム支援。

⑭優秀選手確保事業 2,000千円（2,000千円）

成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。@1,000千円×2名

⑮特別指定競技国体強化事業 12,110千円（16,044千円）

令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体での成績向上を図る。

（9競技10種目）

⑯医・科学サポート事業 6,366千円（5,192千円）

医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

※（新）スポーツファーマシストが国体選手のドーピングコントロールの分析を行う。

※（新）競技団体が県外のスポーツ医科学センター等を活用したスポーツ版人間ドックを受診する。

アイスホッケー（米子アイスホッケークラブ）

⑭1,000,000円

令和2年4月採用の補助対象者2名分（後期） 500千円×2名

⑮13,649,238円

9競技

（サッカー、ボクシング、体操（新体操、トランポリン）、バスケットボール、ソフトテニス、フェンシング、柔道、ソフトボール、ラグビーフットボール）

⑯3,736,128円

28競技（陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、スキー、トライアスロン）

・トレーナー養成講習会

第1回 令和3年12月25日（土）倉吉体育文化会館 36名参加（延期のため）

第2回 令和3年11月23日（火）倉吉体育文化会館 36名参加

第3回 令和4年1月16日（日）倉吉体育文化会館 29名参加

第4回 令和4年2月12日（土）倉吉体育文化会館 → 中止

・チームドクター派遣（21回）

・指導者クリニック → 中止

・栄養講習会 → 中止

・鳥取県スポーツ版人間ドックの受診（会場：YMCA米子医療福祉専門学校）  
→ 中止

・環太平洋大学スポーツ科学センター体力測定受診予定 → 中止

※新型コロナウイルス感染症拡大の観点から各事業を中止

⑰強化練習用消耗品等対策事業 17,014千円(17,294千円)

国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。(12競技13種目)

⑱安全管理対策事業 1,591千円(1,591千円)

国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。

⑲国体等強化備品整備 33,871千円(46,000千円)

要望のあった国体等強化備品の整備を行う。

※【陸上】棒高跳用ポール、【水泳】屋内外専用エバーマット、ソフトマット、【テニス】球出機、【ボート】シングルスカル・ワットバイクプロ・ローイングエルゴメーター・スキーエルゴメーター、【バレーボール】支柱セット、【体操】ゆか用スプリング弾性材、鉄棒セット、【レスリング】ジェットヒーター、【セーリング】トレッドミル・ワットバイク、【自転車】女子用ロードレーサー完成車・トラックレーサー(中・短距離)完成車・ディスクホイールフロント、リヤ・ロードホイール・ワットバイクプロ・練習用大型ローラー台、【相撲】まわし、【バドミントン】トレーニングタイマー、【ライフル射撃】射撃コート、【カヌー】ワイルドウォーターK-1艇・スィムベンチ・エルゴメーター、【山岳・スポーツクライミング】ソフトマット、【トリアスロン】トータルヒップ・レッグプレス

⑳公認指導者資格取得・更新補助事業 97千円(97千円)

国民体育大会の監督資格要件として必要な日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2補助を実施する。(5競技)

㉑強化推進事業 21,080千円(17,944千円)

・強化推進事業費(事務費) 1,080千円(1,080千円)

⑰16,579,914円

12競技(水泳、ボート、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳・スポーツクライミング、カヌー、クレ射撃、スキー、スケート、アイスホッケー)

⑱1,356,511円

35競技(陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー、トリアスロン)

⑲35,625,058円

15競技

(陸上、水泳、テニス、ボート、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、バドミントン、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、トリアスロン)

⑳113,400円

6競技13人

(バレーボール1、相撲2、剣道1、カヌー2、ボウリング4、なぎなた3)

㉑21,195,204円

・各種委員会の開催、競技団体との意見交換会等に係る経費、その他事務費

<p>競技団体との連絡・調整・指導等  ・競技力向上担当人件費 20,000 千円 (16,864 千円)  競技力向上対策事業を受託執行するための3名の人件費</p> <p>(2) わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 850 千円 (1,400 千円)  【激励関係】  ア オリンピック等出場選手激励事業  本県選手・本県出身選手に対し、激励金を交付する。</p> <p>イ 国民体育大会入賞奨励金支給事業  国民体育大会において入賞した競技(種別)に対し報奨金を支給する。</p> <p>【その他】  ウ 強化推進費  鳥取県スポーツ協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費。</p> <p>(3) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。  100,004 千円 (88,686 千円)  ①国体予選会の開催 2,820 千円 (2,764 千円)  国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。</p> <p>②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣  36,946 千円 (18,699 千円)  岡山県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及びフィギュアスケート全国予選会へ選手団を派遣する。  期 日 2021 年 5 月～12 月  会 場 岡山県内の各会場等  競技種目 水泳(水球)他 32 競技</p>	<p>1,625,369 円  ・3名配置 19,569,835 円</p> <p>(2) 771,305 円</p> <p>ア 7名【陸上】池田弘佑、【水泳】武良竜也、三上紗也可、【ボート】富田千愛、【ボクシング】入江聖奈、【セーリング】瀬川和正、【ライフル射撃】中口遥</p> <p>イ 1 競技1種目入賞(スキー)  ※第76回国民体育大会が中止のため、第77回冬季大会のみ対象</p> <p>ウ 競技団体への激励品等の支給。</p> <p>(3) 29,271,816 円</p> <p>①2,528,562 円  国体選手選考のための県予選会を競技団体へ委託 40 競技</p> <p>②18,886,089 円  ・本大会 30 競技  期 日 令和3年5月15(土)～8月29日(日)  会 場 岡山県内の各会場等  競技種目 水泳(水球)他 29 競技  新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から一部の競技中止  ・冬季大会 1 競技  期 日 令和3年12月11日(土)～12月12日(日)  会 場 ヘルスピア倉敷アイスアリーナ(岡山県)  競技種目 アイスホッケー  ・フィギュアスケート競技全国予選会  期 日 令和3年12月4日(土)～12月5日(日) 1 競技</p>
--	--

③第76回本国体及び第77回冬季大会への選手団派遣

58,951千円(65,936千円)

・三重県で開催される第76回国民体育大会(会期前・本大会)に選手団を派遣する。

(本大会及び会期前)

期 日 2021年9月25日～10月5日

※会期前実施競技は2021年9月4日～9月14日

競技種目 陸上競技他36競技

・第77回冬季大会に選手団を派遣する

(スケート・アイスホッケー競技)

期 日 2022年1月24日～1月30日

場 所 栃木県

(スキー競技)

期 日 2022年2月17日～2月20日

場 所 秋田県鹿角市

④国体等派遣選手指導費 1,287千円(1,287千円)

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

(4) 競技力向上のための指導者確保事業 12,432千円(12,097千円)

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

※ホッケー競技・セーリング競技

(5) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業

・コーチングスタッフの確保11,207千円(10,787千円)

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリナー及び倉吉体育文化会館における競技力

会 場 K O S E新横浜スケートセンター(神奈川県)

③7,385,945円

第76回本国体及び第77回冬季大会への選手団派遣

・第76回国民体育大会(会期前・本大会)  
(会期前大会)

競技種目 水泳、体操、レスリング、柔道

(本国体)

競技種目 陸上競技 他32競技

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止

・第77回冬季大会へ選手団を派遣

(スケート・アイスホッケー競技)

期 日 令和4年1月24日(月)～1月30日(日)

場 所 栃木県日光市

競技種目 スケート競技 1競技9名派遣

(スキー競技)

期 日 令和4年2月17日(木)～2月20日(日)

場 所 秋田県鹿角市

競技種目 スキー競技 1競技34名派遣

④471,220円

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行った。

(4) 10,138,246円

体育指導員2名配置 (ホッケー、セーリング)

(5) 10,490,259円

体育指導員(セーリング、クライミング)2名配置

向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業 (日本スポーツ協会委託事業)  
200 千円 (200 千円)

- ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。
- ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

(7) 賛助会費事業 490 千円 (1,090 千円)

①ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 400 千円 (400 千円)

全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。

小・中・高の一貫指導を整え、ジュニアの育成・強化を図るため、基盤となるジュニアクラブチームを支援する。

②総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 30 千円 (30 千円)

総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。

③賛助会員体育施設利用券の発行 30 千円 (30 千円)

鳥取県スポーツ協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。

④賛助会運営費 30 千円 (30 千円)

鳥取県スポーツ協会が賛助会を運営していくために必要となる経費。

(6) 0 円

ドーピング講習会  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止

(7) 403,265 円

①380,000 円

高校運動部 11 校 19 部

②10,000 円

- ・事業実施クラブ及び実施内容  
○ほうきスマイリースポーツクラブ  
→親子で凧揚げ教室

③6,660 円

発行枚数：276 枚  
利用枚数：12 枚

④6,605 円

表彰経費等で支出。



2 生涯スポーツ推進 46,688千円(52,969千円)

(1) 広域スポーツセンター事業 24,887千円(26,312千円)

①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320千円(320千円)

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。(研修会1回 派遣2回)

②クラブアドバイザー配置事業 5,671千円(5,584千円)

総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザー(1名)を配置する。

③クラブアシスタントマネージャー研修事業 120千円(120千円)

総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。(年1回)

④県民まるとスポーツ推進事業 3,494千円(2,194千円)

・親子deスポーツ推進事業(総合型) 977千円(977千円)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室を開催することを支援する。(9クラブ)

・(新)親子deスポーツ推進事業(競技団体) 1,300千円(0千円)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供

2 31,692,668円(31,897,813円)

(1) 20,061,838円

①95,818円

・研修会

日時 令和3年11月23日(火)10:00~16:00

場所 倉吉体育文化会館

講師 松田 雅彦氏(大阪教育大学附属高校平野校舎 教諭)

内容 総合型地域スポーツクラブの課題を考える講演とワークショップ

受講者 12名

・指導者派遣(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)

②4,870,306円

1名配置

③151,890円

日時 令和3年7月17日(土)、18日(日)

場所 倉吉体育文化会館

講師 渡辺 泰弘氏(広島経済大学准教授)

内容 ・クラブマネージャーの役割、クラブの運営

・総合型地域スポーツクラブとは、クラブの現状、クラブの作り方

受講者 7名

④2,929,683円

【親子deスポーツ(総合型)】 939,192円

・青谷スポーツクラブ(トランポ・ロビックス教室)

・地域スポーツ推進協会(トランポリン&バク転教室)

・かほくスポーツクラブ(スポーツクライミング体験)

・ウルトラスポーツクラブ(サッカー教室、トランポ・ロビックス)

・ほうきスマイリースポーツクラブ(親子体操、カヌー体験等)

・スポーツしよい大山(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

【親子deスポーツ(競技団体)】 981,491円

・鳥取県ボート協会

することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、競技団体が親子向け運動教室を開催することを支援する。(10 競技)

・みんな de ユニスポ推進事業 1,217 千円 (1,217 千円)

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが幅広い層を対象としたスポーツ機会を提供することに対して支援する。(4 クラブ)

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 1,313 千円 (785 千円)

県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥第 2 2 回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,791 千円 (7,791 千円)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

・夏季大会 5 種目

期 日 2021 年 8 月 28 日～29 日

会 場 東部地区中心に全県で開催

・秋季大会 34 種目

期 日 2021 年 10 月 23 日～24 日

会 場 東部地区中心に全県で開催

・冬季大会 5 種目

期 日 2022 年 2 月 13 日

会 場 東部地区中心に全県で開催

- ・鳥取県自転車競技連盟
- ・鳥取県バドミントン協会
- ・鳥取県山岳・スポーツクライミング協会
- ・鳥取県空手道連盟

【みんな de ユニスポ】 1,009,000 円

- ・ウルトラスポーツクラブ(エアロ&ヨガ、サッカー教室)
- ・琴の浦クラブ(各種ニュースポーツ体験)
- ・サンリンク・スポーツ(ニュースポーツ(モルック体験))
- ・かほくスポーツクラブ(スポーツクライミング体験)
- ・スポーツしよい大山(みんなでポッチャ)
- ・スポねっとちづ(チャレンジ教室 21(バドミントン教室))
- ・にちなんスポーツクラブ(モルック体験)

⑤1,312,410 円

スポーツイベント、スポーツ施設、宿泊施設等の情報を掲載システム稼働サーバーの OS バージョンアップ

⑥6,320,924 円

○夏季大会 5 種目

※新型コロナウイルス感染防止のため全種目中止

○秋季大会 34 種目

期 日 令和 3 年 10 月 23 日～24 日を中心に実施

会 場 東部地区を中心に開催

※新型コロナウイルス感染防止のため剣道ほか 8 種目が中止

参加人数 5,811 名(前年度 4,387 名)

○冬季大会 5 種目

期 日 令和 4 年 2 月 23 日(スキー・スノーボード)

会 場 大山ホワイトリゾート

参加人数 64 名(前年度 338 名)

※スキー・スノーボード以外の競技は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 0千円 (3,500千円)

※今年度事業コロナ感染対策のため実施検討中

本県スポーツ協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で延期となったため、令和3年度は鳥取県が江原道を訪問。

- ・スポーツ交流大会 3競技(バレーボール(少年男女)、柔道(少年男女)、バドミントン(成年男女))

期 日 2021年12月(予定)

参加者 3競技の監督、選手、スポ協役員等

【鳥取県－江原道スポーツ交流事業 過去交流大会】

回数	期 日	場 所	参加人数	
			鳥取県	江原道
第1回	H13.11.5～9	春川市	24名	29名
第2回	H14.6.24～27	米子市	43名	33名
第3回	H15.11.10～13	束草市	34名	38名
第4回	H16.7.26～29	大山町	40名	31名
第5回	H17.7.26～29	江陵市	33名	37名
第6回	H18.7.25～28	米子市	46名	37名
第7回	H19.12.4～7	原州市	36名	43名
第8回	H20.11.18～21	鳥取市	49名	36名
第9回	H21.12.4～8	東海市	41名	49名
第10回	H22.12.3～7	鳥取市	41名	35名
第11回	H23.12.2～6	春川市	38名	38名
第12回	H24.11.30～12.4	米子市	56名	37名
第13回	H25.11.29～12.3	春川市	42名	47名
第14回	H26.11.28～12.2	米子市	57名	41名
第15回	H27.12.11～15	原州市	40名	39名
第16回	震 災 の 為 中 止			
第17回	H29.12.8～12	鳥取市	43名	40名

⑦0円

※新型コロナウイルス感染症のため交流を断念した。

第18回	H30.12.7~11	春川市	45名	45名
第19回	R元.12.6~10	鳥取市	48名	41名
第20回	新型コロナの為中止			
第21回	新型コロナの為中止			

⑧広域スポーツセンター人件費 6,178千円(6,018千円)

広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費。

(2) スポ協表彰事業 1,225千円(1,500千円)

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、表彰選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 2022年2月19日(土)

場 所 白兔会館

表彰内訳

優良団体賞	2団体
体育功労章	若干名
優秀指導者賞	若干名
特別賞	国際大会出場者等
スポーツ賞	全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

(3) 公認コーチ養成事業 1,569千円(2,076千円)

①公認コーチ養成講習会の開催(日本スポーツ協会委託事業)

1,200千円(1,606千円)

・コーチ1養成講習会 2競技(バレーボール、ボウリング)

⑧4,380,807円

1名配置

(2) 756,924円

令和3年度鳥取県スポーツ協会表彰者

優良団体	1団体
体育功労章	6名
優秀指導者賞	4名
特別賞	7名
スポーツ賞	(個人)29名(団体)97名・11チーム
スポーツ敢闘賞	(個人)39名(団体)34名・4チーム
スポーツ奨励賞	(個人)14名(団体)4名・1チーム

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から表彰式は中止した。代替として優良団体、体育功労章、優秀指導者賞、特別賞の受賞者は、3月15日(火)開催の理事会の席上で賞状等を伝達した。

(3) 1,275,512円

①1,038,437円

・公認バレーボールコーチ1養成講習会

期 日: 令和3年9月18日~20日

場 所: あやめ池スポーツセンター、三朝町総合スポーツセンター

参加人数: 28名

・公認ボウリングコーチ1養成講習会

②公認コーチ育成事業（日本スポーツ協会委託事業）

369 千円（470 千円）

- ・スポーツ指導者研修会の開催 年2回
- ・指導者育成関係事業事務費

(4) スポーツ少年団の育成(日本スポーツ協会助成事業等) 4,455 千円(4,801 千円)

①県競技別交流大会開催事業 559 千円（553 千円）

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会の開催

・軟式野球大会

期 日 令和3年6月26日（土）、27日（日）（予備日）

会 場 赤碓総合運動公園野球場

・ミニバスケットボール大会

期 日 令和3年9月5日（日）

会 場 米子産業体育館

・剣道大会

期 日 令和3年10月17日（日）

会 場 北栄町北条 B&G 海洋センター体育館

・バレーボール大会

期 日 令和3年11月28日（日）

会 場 鳥取産業体育館

②中国ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催事業 670 千円（670 千円）

期 日：令和3年11月6日、7日、13日

場 所：クイーンボウル（米子）

参加人数：28名

②237,075 円

- ・第1回 令和3年11月7日（日）倉吉体育文化会館（参加者数109名）
- ・第2回 令和3年12月5日（日）SANKO 夢みなとタワー（参加者数117名）

(4) 3,462,509 円

①419,892 円

県競技別交流大会の開催

・軟式野球交流大会

期 日：令和3年7月3日（土）

場 所：琴浦町赤碓総合運動公園 野球場

参加単位団数：4単位団（東部1団、中部2団、西部1団）

・ミニバスケットボール交流大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

・剣道交流大会

期 日：令和3年10月17日（日）

会 場：北条 B&G 海洋センター

参加単位団数：5単位団（東部0団、中部3団、西部2団）

参加者数：37名

・バレーボール交流大会

期 日：令和3年12月12日（日）

会 場：鳥取産業体育館

参加単位団数：11単位団（男子5単位団、女子単位6団）

（東部4団、中部3団、西部4団）

参加者数：114名

②170,690 円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

各県のスポーツ少年団による競技別交流大会の開催

期 日 令和3年7月24日(土)～25日(日)

交流競技 軟式野球

会 場 大山青年の家(宿泊)

名和スポーツランド野球場・大山総合運動公園野球場

③中国大会派遣事業 344千円(289千円)

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。(バドミントン(山口県)・男子バレーボール(島根県)・Tボール(岡山県)・スポーツ少年大会、リーダー研究大会(広島県))

④全国大会派遣事業 126千円(424千円)

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。(剣道(高知)・バレーボール女子(島根))

⑤中央講習会派遣事業 15千円(16千円)

認定育成員資格からスタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター資格へ移行する研修会及び新規インストラクター養成のための研修会等へ派遣。

- ・インストラクター(スポーツ少年団)移行研修会
- ・インストラクター(スポーツ少年団)養成講習会

⑥スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の開催

250千円(250千円)

単位団運営において最低2名以上必要な、スタートコーチ(スポーツ少年団)資格を取得できる講習会の開催

期 日 令和3年12月19日(日)

会 場 鳥取県立倉吉体育文化会館

⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 115千円(129千円)

③0円

- ・バドミントン(山口県)
- ・男子バレーボール(島根県)
- ・ティボール(岡山県)
- ・スポーツ少年大会、リーダー研究大会(広島県)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各交流大会の開催中止

④0円

- ・第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会(高知県)
- ・第19回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会(島根県)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各交流大会の開催中止

⑤4,785円

- ・スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会
- ・スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター養成講習会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑥451,000円

期日:令和3年12月19日(日)

場所:倉吉体育文化会館

受講者:116名

⑦0円

日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を  
取得できる講習会の開催

期 日 令和3年10月9日(土)～10日(日)

会 場 鳥取県立船上山少年自然の家

⑧地区別交流大会開催費 421千円(421千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成。

⑨地区別指導者研修費 151千円(151千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成。

⑩スポーツ少年団本部運営費 1,804千円(1,898千円)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑧397,379円

・東・中・西部地区に助成。

⑨61,420円

・東・西部地区に助成。

⑩1,957,343円

スポーツ少年団本部運営事業

・委員総会

第1回委員総会 書面決議

第2回委員総会

期日：令和3年6月28日(月)

場所：倉吉体育文化会館

第3回委員総会 書面決議

第4回委員総会 書面決議

・常任委員会

第1回常任委員会

期日：令和3年4月16日(金)

場所：倉吉体育文化会館

第2回常任委員会

期日：令和3年5月17日(月)

場所：中部総合事務所

第3回常任委員会 書面決議

第4回常任委員会 書面決議

・令和3年度スポーツ少年団登録数

指導者登録数：440名(495名)

団員登録数：3,078名(2,850名)

(5) スポーツ安全保険業務 4,345 千円 (4,828 千円)  
公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(6) 施設基金実施事業 9,352 千円 (12,352 千円)  
①ガイナーレ鳥取支援事業 51 千円 (51 千円)  
ガイナーレ鳥取に対し、県ス協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

②備品整備事業 300 千円 (300 千円)  
県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。  
・公用車（軽自動車）の維持・修繕等

③2020 東京オリパラ・世界選手権合宿誘致事業 9,001 千円 (9,001 千円)  
東京オリ・パラキャンプ誘致に係る開催市町村への負担

(7) スポーツスクエア整備事業 750 千円 (1,100 千円)  
本県出身選手や本県ゆかりの選手等に関する展示物を展示することで県民のスポーツへの興味・関心を高める目的で管理施設（布勢総合運動公園他）のスポーツ展示スペースの整備を行う。

(8) (新) ACP 普及促進研修会開催事業 105 千円 (0 円)  
日本スポーツ協会において策定されている「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」を県内において周知・普及させる研修会を開催する。

(5) 4,147,000 円  
協定期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日  
加入団体数：1,326 団体  
加入者数：41,739 人  
掛金合計：45,249,650 円

(6) 1,254,852 円  
①50,110 円  
ガイナーレ鳥取への支援  
クラブスポンサーとして支援

②275,780 円  
公用車のリース料及び法定点検等整備

③928,962 円  
東京オリ・パラキャンプ実施委員会に負担金を補助  
倉吉市・米子市 ※鳥取市は合宿中止

(7) 632,133 円  
とっとりスポーツスクエアの展示  
期 日：令和3年12月7日～令和4年3月末  
会 場：展示場所 鳥取県民体育館  
展示内容：①「鳥取県にゆかりのあるプロ野球選手」  
②連続企画「鳥取の体育・スポーツのあけぼの」  
第2回「高校野球の歴史」

(8) 101,900 円  
期日：令和3年11月21日(日)  
場所：倉吉体育文化会館  
参加者数：13人  
講師：2人



指定管理施設 運営状況一覧

令和4年3月31日現在

	公益事業 + 収益事業					収益事業	合計
	鳥取県立 布勢総合運動公園	鳥取県立 鳥取産業体育館 鳥取県営 鳥取屋内プール	米子市 皆生市民プール	鳥取県立 米子産業体育館	鳥取県立武道館	鳥取県立 倉吉体育文化会館	
利用人数 (計画)	936,100人 (943,200人)	70,000人 65,000人 (77,700人) (67,000人)	87,000人 (87,000人)	139,000人 (141,000人)	109,000人 (108,000人)	196,000人 (162,755人)	1,602,100人 (1,586,655人)
利用人数 (実績)	753,000人 (638,134人)	76,937人 49,429人 (54,262人) (31,476人)	76,422人 (74,421人)	90,761人 (74,731人)	70,187人 (58,348人)	74,057人 (56,262人)	1,190,793人 (987,634人)
利用収入等金額 (計画)	57,335,000円 (60,770,000円)	31,844,000円 (32,664,000円)	21,300,000円 (24,175,000円)	29,300,000円 (31,300,000円)	12,970,000円 (12,910,000円)	20,337,000円 (19,053,000円)	173,086,000円 (180,872,000円)
利用収入等金額 (実績)	48,745,134円 (42,076,952円)	21,097,614円 (16,159,975円)	15,439,089円 (18,427,387円)	16,788,923円 (15,844,616円)	10,237,887円 (9,017,578円)	14,706,471円 (12,129,683円)	127,015,118円 (113,656,191円)
県委託料 (予算)	287,980,000円 (287,980,000円)	66,195,000円 (66,227,000円)		33,080,000円 (33,080,000円)	67,537,000円 (67,537,000円)	61,336,000円 (58,060,000円)	516,128,000円 (512,884,000円)
県委託料 (実績)	289,880,696円 (287,986,732円)	66,205,370円 (66,555,401円)		33,081,728円 (33,082,823円)	66,524,622円 (67,542,000円)	60,418,713円 (54,903,083円)	516,111,129円 (510,070,039円)
米子市委託料 (予算)			51,000,000円 (45,959,000円)				51,000,000円 (45,959,000円)
米子市委託料 (実績)			51,000,000円 (45,959,000円)				51,000,000円 (45,959,000円)
スポーツ(文化)教室	【スポーツ教室】 卓球初級教室他31教室	【体育館】 バドミントン教室 他12教室 【プール】 小学生教室他15教室	【スポーツ教室】 バドミントン初級教室他8教室 【水泳教室】 幼児水泳教室ほか22教室	【スポーツ教室】 サッカー教室他12教室 【短期教室】 バドミントン教室他2教室	【スポーツ教室】 柔道教室他10教室	【スポーツ教室】 健康づくり教室 他18教室 【文化教室】 ワガワガメント教室 他8教室	
イベント	【いきいき健康長寿】 園長杯争奪CG大会他3種 【スポーツ活性化】 布勢サッカー大会他2種 【交流・地域活性化】 ミニ遊園地 【体験学習プログラム】 きのご採取ウォーク他1種	・ローソンカップ小学 生卓球大会 ・花ショウブ展示会	【スポーツ】 ・短期水泳教室(一般)泳 力層測定会 【地域貢献】 ・漕いで待て講習会	・新体操発表会	・小学生剣道大会 ・高校生弓道大会 ・武道・バラスポ ーツ合同体親会 ・空手道教室審査会	【スポーツイベント】 ・体文ボクシングコンパレ ション他1イベント 【その他イベント】 ・体文祭(Web開催) ・クリスマス・お正月イベ ント	
指定管理期間	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日	
備考			・プール滑り台補修工事 8月31日～9月7日			体育館放送設備改修 10月～3月	

※カッコ内はR2年度

事業計画	実施状況																								
<p>3 体育施設管理・運営 657,039千円(658,096千円) 鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p> <p>(1) 布勢総合運動公園 344,561千円(345,517千円)</p> <table border="0" data-bbox="174 379 869 571"> <tr> <td>令和3年度利用見込人数</td> <td>936,100人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度利用見込人数</td> <td>(943,200人)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度収入見込額</td> <td>57,335千円</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度収入見込額)</td> <td>(60,770千円)</td> </tr> </table>	令和3年度利用見込人数	936,100人	令和2年度利用見込人数	(943,200人)	令和3年度収入見込額	57,335千円	(令和2年度収入見込額)	(60,770千円)	<p>3 622,059,929円(598,367,366円)</p> <p>(1) 布勢総合運動公園 339,516,606円(324,259,758円)</p> <p>①利用人数および収入増減理由</p> <table border="0" data-bbox="1169 379 1877 539"> <tr> <td colspan="2">ア 利用人数</td> </tr> <tr> <td>令和3年度施設利用者数</td> <td>753,000人</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度実績)</td> <td>(638,134人)</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>114,866人</td> </tr> </table> <p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度対比では増加しているが、あくまでも令和2年度のコロナの影響による大幅な減少との比較であり、増加と考えるべきものではない。考えられる要因としては、コロナの影響によって中止されるイベントや大会が若干少なくなったことや、無観客等の対応の緩和などが考えられる。</li> </ul> <table border="0" data-bbox="1169 817 1953 970"> <tr> <td colspan="2">イ 収入(自動販売機収入含む)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度収入額</td> <td>48,745,134円</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度実績)</td> <td>(42,076,952円)</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>6,668,182円</td> </tr> </table> <p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記利用人数同様の理由が考えられる。</li> </ul> <p>②事業実施状況</p> <p>ア 施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕業務 コロナ禍による減収等により支出を抑えていきたい中ではあるが、老朽化の進む施設の維持管理を適切に行うために必要性を精査し、優先度の高いものから実施した。また、必要性に応じて次年度に繰り越す判断をしたものもある。</li> <li>コロナ対応 県が示す方針を基本に、新型コロナ安心対策認証店の認証登録や状況に応</li> </ul>	ア 利用人数		令和3年度施設利用者数	753,000人	(令和2年度実績)	(638,134人)	増減	114,866人	イ 収入(自動販売機収入含む)		令和3年度収入額	48,745,134円	(令和2年度実績)	(42,076,952円)	増減	6,668,182円
令和3年度利用見込人数	936,100人																								
令和2年度利用見込人数	(943,200人)																								
令和3年度収入見込額	57,335千円																								
(令和2年度収入見込額)	(60,770千円)																								
ア 利用人数																									
令和3年度施設利用者数	753,000人																								
(令和2年度実績)	(638,134人)																								
増減	114,866人																								
イ 収入(自動販売機収入含む)																									
令和3年度収入額	48,745,134円																								
(令和2年度実績)	(42,076,952円)																								
増減	6,668,182円																								

じて対策のレベルアップ、徹底及び周知等を行った。また、コロナの状況によりやむを得ず中止となったスポーツ教室等においては返金対応とした。

- ・予約システム改修への対応

鳥取県施設予約システムが改修されるにあたり、トライアル運用での課題抽出、意見の提出等全面的に協力するとともに、4月からのスムーズな運営開始のため、3月からデータの移行及びテスト運用に取り組んだ。

- ・研修室の利用促進

ダンスやヨガなどの研修室利用を促進するための鏡の無償貸出しについて、3枚1組を1セットから3セットに増設し、2階研修室、1階研修室にそれぞれに設置することで更に利用促進・利便性が上がった。ダンス系利用では令和2年度が313件だったのに対し、令和3年度は451件と138件の増加がみられた。

#### イ 教室およびイベント実施

- ・スポーツ教室32教室

延べ実施回数954回（令和2年度630回）

延べ参加者12,759人（令和2年度8,138人）

- ・イベント

実施回数 14回（令和2年度18回）

延べ参加者 4,534人（令和2年度2,698人）

#### ③課題および取組み

- ・研修室の利用促進

研修室の利用について、更に幅広くご利用いただくため、ホームページ等での研修室のご案内を充実させる必要がある。具体的な利用方法や、実際に利用されている風景のわかる写真（利用者に許可を取って撮影）などを掲載する等検討。

- ・with コロナに向けた取組み

コロナに関わる状況が大きく変化する中、全国的にもようやくwithコロナが強く発信されるようになり、鳥取県でも「感染防御型Withコロナ」により、感染の広がりを抑えながら社会経済活動を継続するため、withコロナを前提とした感染対策が要請されるようになった。

今後、施設管理・運営面でも県の方針に沿ってできる限りの利用制限の緩

(2) 鳥取産業体育館・鳥取屋内プール 97,779千円(98,631千円)

令和3年度利用見込人数	体育館70,000人 プール65,000人 135,000人
(令和2年度利用見込人数)	体育館77,700人 プール67,000人 (144,700人)

令和3年度収入見込額	31,844千円
(令和2年度収入見込額)	(32,664千円)

和や事業の実施、利用者への周知を図っていかなければならない。

(2) 鳥取産業体育館・鳥取屋内プール 87,447,662円(83,047,911円)

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数	
令和3年度施設利用者数	126,366人(体育館76,937人) (プール49,429人)
(令和2年度実績)	85,738人(体育館54,262人) (プール31,476人)
増 減	40,628人

【増減理由】

- ・前年度令和2年10月から令和3年1月は体育館及びプールの改修工事で休館となっていたため、大会及び一般利用が増えた。

イ 収入(自動販売機収入含む)

令和3年度収入額	21,097,614円
(令和2年度実績)	16,159,975円
増 減	4,937,639円

【増減理由】

- ・前年度令和2年10月から令和3年1月は体育館及びプールの改修工事で休館となっていたため、大会及び一般利用が増えた。
- ・マイナビ企業説明会、城北高等学校卒業式等の金額の大きい利用があった。

②事業実施状況

ア 施設管理

- ・新型コロナ対応
  - 鳥取県新型コロナ安心対策認証店の申請を行った。(R4年4月認証)
  - 職員のマスクの着用(水泳教室指導時はフェイスシールドを着用)を行い、窓口及び事務所の机の間にビニールシートを設置した。
  - 3密を避けるため各施設、換気扇及び窓を開け換気を行った。
  - 1日3回、午前、午後、夜に自動販売機、ドアノブ及び体育設備等を職員によりアルコール消毒を行った。
  - プール内の密を避けるため、1コース12人の入場制限を実施した。

- 新たにタブレット式非接触検温器を1台購入、2台での稼働体制とした。
- 日ノ丸産業と連携し、赤外線サーモグラフィカメラ及び可視光 AI スクリーニングシステムを試験的に導入。利用者の検温を実施した。
- ・鳥取市内の散岐小学校へ出向き、教師及び生徒に水泳出前指導を行い泳力向上に貢献した。
- ・障がい者の利用者の利便性を図るため、ミライロ ID を導入して手帳がなくてもアプリでの提示を受け付けるようにした。
- ・新施設予約サービスの稼働（R4年4月）に向け、トライアル環境での課題抽出など、4月からの円滑な運用開始に取り組んだ。
- ・施設周辺に除草剤散布を行い、施設内外の美化に心がけた。
- ・5月から鳥取県水泳連盟と協力して、シトラスリボンプロジェクトとしてシトラスリボンの無料配布を実施。
- ・プール利用者からの意見を取り入れ、アクアエクササイズ教室の開始時間を10時30分から10時45分にするにより混雑時の解消に努めた。
- ・利用者がより使いやすくまた、経費削減に努める目的でプールの開館時間を変更した。

時期	変更前の開館時間	変更後の開館時間
7月～9月	9:00～20:30	9:00～20:00
10月～6月	10:00～20:00	①10月～4月 10:00～20:00 ②5月、6月 9:30～20:00

#### イ 教室およびイベント実施

- ・スポーツ教室13教室  
延べ実施回数378回（令和2年度323回）  
延べ参加者5,189人（令和2年度3,832人）
- ・水泳教室16教室  
延べ実施回数451回（令和2年度126回）  
延べ参加者3,808人（令和2年度646人）
- ・イベント

実施回数 2回 (令和2年度3回)  
延べ参加者 408人 (令和2年度572人)

### ③課題および取組み

- ・施設の老朽化が進んでいる。大規模修繕は県と連携し修繕を検討し、小規模修繕については、職員で直せるものは職員で対応しているが追い付かない状況である。日頃の巡視・点検を徹底し、大きな修繕にならないように努める。
- ・新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況で、利用人数及び収入（特に体育館の営利利用）を通常の状態に戻すのは非常に難しいと考える。
- ・コロナで中止になったイベントや大会がこのまま本館を離れないよう、継続開催の声掛けをしていくなど、コロナ終息後の再利用を促していく。
- ・近年コロナにより収支状況が厳しい状態である。支出を抑えるよう節減意識をより一層持ち努めていく必要があるが、令和元年度に経年劣化で集熱器を撤去したことで、夏場もボイラーを使用しなければならない。今年度ボイラーの燃料である灯油が高騰。支出が増加する大きな要因になっている。

### ④その他

- ・利用者が安心・安全・快適に施設を利用していただくことが基本と考え、施設アンケート・教室アンケートを行う機会を増やし、利用者の声を聴き、迅速な対応ができる管理運営に努める。
- ・競技団体との連絡を密にし、広く県民の皆様にトップアスリートのプレーを体感できる公式戦や教室を開催してもらえるよう努める。
- ・教室、イベントの参加者を増加させるため、当館ホームページやメディアへの広報はもとより、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。  
また、継続開催のものは、前回の参加者に連絡し継続しての参加を依頼する。
- ・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。
- ・株式会社ローソンと協力し、ローソニック卓球大会の継続・充実を図る。
- ・収入増を図るため、追加イベント、教室を計画し実施する。
- ・鳥取市民体育館が改修工事により休館中であるため、工事等で同時休館としないよう県と連携し管理運営を行う。

(3) 米子市皆生市民プール 72,243 千円 (69,546 千円)

令和3年度利用見込人数	87,000人
(令和2年用利用見込人数)	(87,000人)
令和3年度収入見込額	21,300千円
(令和2年度収入見込額)	(24,175千円)

(3) 米子市皆生市民プール 70,984,121 円 (64,338,879 円)

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和3年度施設利用者数	76,422人
(令和2年度実績)	74,421人
増 減	+ 2,001人

【増減理由】

・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、スポーツ教室を一部中止したものの、概ね計画どおりに実施することができた。

○一般利用及び専用利用	△815人
○トレーニングホール	+505人
○スポーツ教室	+2,230人
○研修室及びイベント	+81人

イ 収入

令和3年度収入額	15,439,089円
(令和2年度実績)	18,427,387円
増 減	△ 2,988,298円

【増減理由】

・スポーツ教室等の収入は利用者増のため増加したが、前年度雑収入の新型コロナウイルス感染拡大防止対策費(4,040千円)分が今年度はないため、収入全体では減少となった。

○一般利用及び専用利用	△135,880円
○トレーニングホール	+23,035円
○スポーツ教室	+1,264,910円
○イベント・自販機収入・雑収入	△4,140,363円

②事業実施状況

ア 施設管理

<新型コロナウイルス感染症関連>

・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、施設の管理運営を行った。

- ・施設内の三密（密集・密接・密閉）を防ぐため、「更衣室ドアの開放」「自動ドアの開放」「プール内の窓の開放」「トレーニングホールのドアの開放」とともに利用者に対し「密にならないように注意喚起」等を実施した。
  - ・施設利用者等が新型コロナウイルス感染症の陽性者として確認された場合に他の利用者等への連絡手段確保のため、利用者及び送迎・見学者も含め全員に連絡先等の提出をお願いし、提出されたものは施錠できる場所に保管した。
  - ・7月19日以後、県西部地区に「特別警報」が発令されたため、感染拡大防止の観点から、スポーツ教室を中止し、参加料を返金した。
  - ・オミクロン株の流行により令和4年1月27日から2月17日の間、スポーツ教室（一般教室を除く。）を中止し、2回分の参加料を返金した。
- <教室・イベント等>
- ・11月17日にジュニア・バドミントン交流会を開催し、多くの参加者が白熱したゲームを展開し盛況であった。
  - ・11月21日及び12月25日に鳥取県バドミントン協会主催の親子バドミントン教室が開催され、バドミントンに初めて触れる子供たちの笑顔や歓声でにぎわった。
  - ・3月29日に（公財）日本水泳連盟泳力測定会が開催され、多くの参加者が、自分の目標のタイムを切るために持てる力を発揮して挑戦していた。
- <その他>
- ・6月2日（水）休館日を利用し、共同企業体である（一財）鳥取県水泳連盟鳥取県営東山水泳場の職員と合同で救命救助訓練を実施し、夏の繁忙期を前に一時救急処置（BLS）、溺者への接近救助等の方法について確認した。
  - ・NPO法人皆生ライフセービングクラブと連携し、
    - 6月30日に境港市立上道小学校教職員を対象とした「溺れた時の対処方法及びAED使用方法」の講習会に派遣した。
    - 7月15日和田小、住吉小、7月16日伯仙小、7月20日彦名小の希望された約300名の児童が参加した「浮いて待て講習会」に、講師として職員を派遣した。
  - ・8月31日（火）～9月8日（水）の間、プール清掃及び小プール滑り台塗装補修で休館した。この間、普段清掃できていない部分等の清掃や備品等のチェックを実施し、利用者に安心安全できれいな施設を提供できるよう整えた。
  - ・新施設予約サービスの稼働（R4年4月）に向け、トライアル環境での課題抽出など、4月からの円滑な運用開始に取り組んだ。



イ 教室およびイベント実施

・水泳教室23教室

延べ実施回数 698回 (令和2年度 539回)

延べ参加者 8,964人 (令和2年度 7,132人)

・スポーツ教室9教室(トレーニングホール)

延べ実施回数 337回 (令和2年度 279回)

延べ参加者 2,792人 (令和2年度 2,394人)

・イベント

実施回数 18回 (令和2年度 33回)

延べ参加者 115人 (令和2年度 185人)

③課題および取組み

<新型コロナウイルス感染症関連>

- ・新型コロナウイルス感染症陽性者の減少が見られない状況の中での施設運営となり、感染予防・感染防止対策を講じながら施設運営に臨んだ。今後も感染予防対策を継続し、感染拡大につながらないよう消毒や換気等に気を配り、安心安全な施設として提供できるよう職員一同が取り組んでいく。なお、鳥取県の実施する「新型コロナウイルス安心対策認証店」の登録申請を行った。(R4年4月認証)

<教室・イベント等>

- ・米子市のスポーツ振興及び健康増進に照らした事業展開と安心安全な施設の提供できるよう、利用者の声に耳を傾け、社会情勢やニーズの変化に対応できる施設運営を目指す。

<その他>

- ・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。
- ・トレーニングホール外壁改修は米子市が直接施工されたが、その他の小規模修繕が必要な箇所が多くあり、職員の巡回や点検、補修を行うとともに業者見積書を取得し設置者に対し修繕・改修等の必要性について報告していく。
- ・燃料(A重油)や電気代の高騰により、施設運営に支障をきたさないよう、職員全員が節減意識をさらに強く持ち支出の抑制を図るとともに、収入アップの方策も継続して考えていく必要がある。

(4) 鳥取県立米子産業体育館 62,230千円(64,380千円)

令和3年度利用見込人数 139,000人  
(令和2年度利用見込人数) (141,000人)

令和3年度収入見込額 29,300千円  
(令和2年度収入見込額) (31,300千円)

(4) 鳥取県立米子産業体育館 50,201,921円(50,749,619円)

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和3年度施設利用者数 90,761人  
(令和2年度実績) 74,731人  
増減 16,030人

【増減理由】

- ・前年度コロナウイルスによる影響で4月13日から5月15日まで休館。スポーツ教室、フィットネスルームについても5月末まで休止した。本年度は3月にスポーツ教室を休止したが、それ以外は予定通り実施したことによる。
- ・今年度新型コロナウイルス感染が拡大し、催事がキャンセルになったところに日程、会場変更となった高校総体が開催された。
- ・前年度は新型コロナウイルス感染防止により利用自粛の影響が出ているが、今年度については、個人の専用利用が例年通りに戻ってきている。

イ 収入(自動販売機収入含む)

令和3年度収入額 16,788,923円  
(令和2年度実績) 15,844,616円  
増減 944,307円

【増減理由】

- ・前年同様に催事キャンセルが多く、当初見込みの約57%の収入ではあるが、利用人数と同様の理由により収入増

②事業実施状況

ア 施設管理

- ・利用者の安全性を考慮し、日常点検、定期的な施設点検を行い、職員で修繕が可能な、軽微な不具合についてはすぐに対応した。
- ・他施設の事故発生に注意し、同様のことを起こさないよう検証を行った。
- ・利用者アンケートを実施し、ニーズの把握、不適切な対応に対する改善等の判断材料とした。
- ・不審者侵入に対する訓練や全国瞬時警報システム(Jアラート)の定期点検など緊急時の備えを行った。
- ・近隣小中学校の社会活動に協力した。

- T E A S活動を継続的に行い、省エネ、環境への影響に配慮した。またII種登録の更新を行った。
- 新型コロナ対応
  - 会議室利用予約の間隔を30分以上開け、ドアノブや机を塩素系消毒液による消毒および換気作業を実施した。
  - フィットネスルームでの感染防止として、一人1時間の利用時間とした。また、1日2回と終業時に消毒、換気の時間を設け、フィットネス機器の消毒作業をアルコール消毒剤により行った。
  - 受付時に利用者への三密防止、消毒の徹底をお願いするとともに、来館者に向けてデジタルサイネージにもコロナウイルス感染症に関する注意喚起の表示を行った。
  - 啓発ポスターの掲示、利用人数制限への対応、催事等の主催者との綿密な打ち合わせ等を行った。
  - 毎日の昼礼時にコロナウイルス感染症等の情報共有化を図った。
  - 新型コロナ安心対策認証店の申請を行った。(R4年4月認証)
- 2階会議室にWi-Fiを導入し、利用者の利便性向上を図った。
- 新施設予約サービスの稼働(R4年4月)に向けトライアル環境での課題抽出など、4月からの円滑な運用開始に取り組んだ。
- 熱中症対策として、WBGT数値の測定、熱中症警報が発令された場合の館内表示、さらに利用者への水分補給、休憩を促すなどの声掛けを行った。また、ホールのWBGTにも注意を払い、冷房基準を設け、適宜冷房運転を行った。
- (株)バンダイナムコ島根スサノオマジック、鳥取県バレーボール協会との連絡を密にし、B1リーグ、Vプレミアリーグで活躍するトップアスリートのプレーを体感できる公式戦や教室を引き続き開催してもらえるよう努めた。
- 職員の資質向上の為に、研修会や講習会へ積極的に参加した。また、施設の管理運営上、必要な資格の取得に努めた。

#### イ 教室およびイベント実施

##### • スポーツ教室

延べ実施回数 574回 (令和2年度 466回)

延べ参加者 5,746人 (令和2年度3,557人)

##### • イベント

実施回数 1回 (令和2年度 0回)

延べ参加者 19人（令和2年度 0人）

③課題および取組み

- ・コロナ禍による大会等の中止で収入が大幅に落ち込む一方、感染対策費用による経費増となり収支は悪化。利用者サービスに支障をきたさない範囲で、少しでも支出を抑えるよう努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会・イベントを中止した団体について、これを機に催事取りやめとならないよう、引き続き予約の確認等継続利用を働きかけた。また、新たな催事開催についても引き続き誘致を行った。
- ・新体育館建設による県の方針により、営繕関係の要望が事故、災害につながる緊急性のあるものを除いて今後ストップしている状況にある。これにより利用者への利便性向上の対応が低下していく不安があるが、施設側でできる修繕について最大限行っていく。

④その他

- ・熱中症対策の取り組み状況を熱中症予防声かけプロジェクト「ひと涼みアワード2021」に応募。後日、スポーツ部門優良賞を受賞した。（5年連続）
- ・1階ホールの活用として、鳥取県栄養士会の展示を行った。その際、次年度に向けてスポーツと栄養に関する展示を定期的に行ってもらおう働きかけ、実施する運びとなった。

(5) 鳥取県立武道館 80,226千円 (80,172千円)

令和3年度利用見込人数	109,000人
(令和2年度利用見込人数)	(108,000人)
令和3年度収入見込額	12,970千円
(令和2年度収入見込額)	(12,910千円)

(5) 鳥取県立武道館 73,909,619円 (75,971,199円)

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和3年度施設利用者数	70,187人
(令和2年度実績)	58,348人
増 減	11,839人

【増減理由】

- ・昨年度は、4月13日から5月15日まで臨時休館となったため、利用人数が大幅に減少したが、今年度は、4月から6月に例年通り大会等が開催され、昨年に比べ利用人数が増加した。
- ・今年度8月に中国中学校柔道大会が開催されたこともあり利用者が増加した。
- ・今年度2月は新型コロナウイルス感染拡大のため、大会等がキャンセルになった。また、武道・スポーツ教室を1月27日から3月2日まで休講としたことにより、利用人数が減少した。

イ 収入 (自動販売機収入含む)

令和3年度収入額	10,237,887円
(令和2年度実績)	9,017,578円
増 減	1,220,309円

【増減理由】

- ・今年度は、4月から6月にかけて予定された大会等のキャンセルも少なく、収入が増加した。また、予定通り武道・スポーツ教室も実施となり収入増になった。
- ・7月中旬から8月上旬にかけて、新型コロナウイルスが再拡大し、武道・スポーツ教室は一時中断したが、8月に中国中学校柔道大会が開催されたこともあり、収入増に繋がった。
- ・昨年は、4月から9月まで館内の密を避けるため各道場及び会議室等の定員を約2分の1にしたことが収入減少の一因となったが、今年度は定員を通常に戻したことで昨年に比べて収入増になった。
- ・1月頃から新型コロナウイルスが再拡大したため2・3月は大会等のキャンセルが増加したため、収入が減少した。また、1月27日から3月2日まで武道・スポーツ教室を休講としたため収入の減少となった。

## ②事業実施状況

### ア 施設管理

- ・新型コロナ安心対策認証店の申請を行った。(R4年4月認証)
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策として、新たに①柔道畳の消毒②スリッパの消毒③消毒液や石鹼の設置増④主道場入口への仕切り設置による密の回避⑤設備等を使用する団体に消毒の協力依頼(受付時に消毒セット配付)を行った。
- ・9月から研修室(1)を多目的に使用できるよう、机・いすを撤去し、利用者の利便性を図った。
- ・ホームページでの情報発信により、県内外からの大会・合宿誘致を行った。
- ・武道合同体験会にパラスポーツとニュースポーツの体験コーナーを加え開催し武道及びパラスポーツの普及に努めた。
- ・各競技団体等の依頼により、外部指導者、審判員等で職員を派遣した。
- ・利用申込の電子化を推進し、窓口で申し込みを行う利用者にも、電子メールやファクシミリによる事前申し込みを勧めた。
- ・月に1回クリーン日(職員による一斉清掃日)を定め、植栽管理や清掃等を実施してきたが、引き続き館内外の美化に努める。
- ・AEDを使った心肺蘇生練習用の人形を購入し、AED研修の質の向上を図るなど緊急時に備えた。
- ・弓道連盟の協力のもと、弓道に関する書籍(指導専門誌等)を設置し、利用者が自由に閲覧できるようにした。
- ・武道館の入口2ヶ所(正面、道場)に設置してある掲示板をリニューアルした。
- ・職員に心肺蘇生用フェイスシールドを配布し、普段から携帯することで救急事案が起きた時に迅速に対応できるようにした。
- ・新施設予約サービスの稼働(R4年4月)に向け、トライアル環境での課題抽出など、4月からの円滑な運用開始に取り組んだ。

### イ 教室およびイベント実施

- ・スポーツ教室11教室  
延べ実施回数 987回(令和2年度 1,164回)  
延べ参加者 7,384人(令和2年度 7,413人)
- ・イベント  
実施回数 6回(令和2年度 7回)

延べ参加者 982人（令和2年度 910人）

③課題および取組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数及び収入額とも減少。どちらも感染前の数字に戻せるようホームページ等でイベントや活動内容を紹介するなど広報活動に力を入れたい。
- ・平日昼間の利用者を増やすことが課題。シニア世代、在宅育児者（母子）、学校、障がい者等への積極的な利用を呼びかける。また、これまでは行ってこなかったニュースポーツ等の実施を検討する。
- ・設備・建物の老朽化により修理が必要な箇所が増加しており経費増となっている。職員による巡回により早期発見に努め、修繕費が軽微なうちに対応していく。
- ・敷地内の駐車スペース以外への駐車がよく見られたので、ポールを設置し、指定の場所以外には駐車しないよう注意喚起した。

事業計画	実施状況																				
<p>&lt;収益1&gt;施設関連事業 201,791千円(79,155千円)</p> <p>1 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p> <p>(1) 倉吉体育文化会館 81,673千円(77,113千円)</p> <table border="0" data-bbox="168 343 862 534"> <tr> <td>令和3年度利用見込人数</td> <td>196,000人</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度利用見込人数)</td> <td>(162,755人)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度収入見込額</td> <td>20,337千円</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度収入見込額)</td> <td>(19,053千円)</td> </tr> </table>	令和3年度利用見込人数	196,000人	(令和2年度利用見込人数)	(162,755人)	令和3年度収入見込額	20,337千円	(令和2年度収入見込額)	(19,053千円)	<p>&lt;収益1&gt;81,641,450円(196,259,528円)</p> <p>(1) 倉吉体育文化会館 74,244,773円(67,783,723円)</p> <p>①利用人数および収入増減理由</p> <p>ア 利用人数</p> <table border="0" data-bbox="1176 383 1792 494"> <tr> <td>令和3年度施設利用者数</td> <td>74,057人</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度実績)</td> <td>56,262人</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>17,795人</td> </tr> </table> <p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年はコロナ感染症が原因で例年に比べ利用が減少。本年度はコロナ感染症対策を行っての利用で、利用者がもどってきたことにより利用人数が増加した。</li> </ul> <p>イ 収入(自動販売機収入含む)</p> <table border="0" data-bbox="1176 774 1904 885"> <tr> <td>令和3年度収入額</td> <td>14,706,471円</td> </tr> <tr> <td>(令和2年度実績)</td> <td>12,129,683円</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>2,576,788円</td> </tr> </table> <p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用人数増加の理由に加え、前年度のような利用停止や人数制限もなく、年間を通して安定した利用があったため増加した。</li> </ul> <p>②事業実施状況</p> <p>ア 施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取県の新型コロナ安心対策認証店に申請。(R4年4月認証)</li> <li>○近年のコロナウイルス感染症の状況を鑑み、年間調整会をWEB上で開催した。</li> <li>○クラミングルームにアルコール消毒のモップを整備した。</li> </ul> </li> <li>クライミングセンターの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>○クライミングセンター・体育館アリーナでWi-Fiが利用できるよう整備</li> </ul> </li> </ul>	令和3年度施設利用者数	74,057人	(令和2年度実績)	56,262人	増減	17,795人	令和3年度収入額	14,706,471円	(令和2年度実績)	12,129,683円	増減	2,576,788円
令和3年度利用見込人数	196,000人																				
(令和2年度利用見込人数)	(162,755人)																				
令和3年度収入見込額	20,337千円																				
(令和2年度収入見込額)	(19,053千円)																				
令和3年度施設利用者数	74,057人																				
(令和2年度実績)	56,262人																				
増減	17,795人																				
令和3年度収入額	14,706,471円																				
(令和2年度実績)	12,129,683円																				
増減	2,576,788円																				



し、クライミングジャパンツアーでは youtube 配信を行った。

○クライミングセンターの運営が円滑に行われるように高所作業車運転資格者を1名増員した。

○ボルダリングの定期的なルート設定の変更を行った。

○東京オリンピックフランス代表の事前合宿を受入れに協力した。

- ・電話交換機の整備など、利用者の安全性や利便性確保の観点から迅速な修繕を心掛け実施した。
- ・ネット申込みに対応できるようにした。
- ・新施設予約サービスの稼働（R4年4月）に向け、トライアル環境での課題抽出など、4月からの円滑な運用開始に取り組んだ。
- ・除草作業や施設遊歩道や遊休地に来館者の癒しとなるようにプランターや花壇の整備を継続して行い、施設の美観に努めた。
- ・ボルダリングルームの外にグリーンカーテンを設置するなど、環境に配慮した運営を行った。
- ・救急講習やJアラートの訓練など緊急時に備えた。
- ・ゴルフ教室と体づくり教室を新規に行った。
- ・ボランティア団体（ワーカーズコープ）による清掃活動を受け入れた。
- ・西郷小学校の町探検活動を受け入れた。
- ・認知症予防体操や楽しく体を動かす運動を中心とした外部指導を行った。

#### イ 教室およびイベント実施

- ・スポーツ教室19教室

延べ実施回数323回（令和2年度210回）

延べ参加者2,437人（令和2年度1,420人）

- ・文化教室9教室

延べ実施回数180回（令和2年度120回）

延べ参加者1,390人（令和2年度953人）

- ・イベント

実施回数 5回（令和2年度8回）

延べ参加者 420人（令和2年度396人）

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 7,193 千円 (124,678 千円)

- ・倉吉自転車競技場管理運営  
職員 2 名を配置し管理運営を行う。

③課題および取組み

- ・ボルダリングの定期的なルート設定の変更を継続して行ってほしいという声が多いため、令和 4 年度も可能なかぎりルート変更を継続して実施したい。
- ・施設の老朽化が進んでいるため、予防保全による修繕を実施し、安全な施設管理運営を行っていく。

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 7,396,677 円 (128,475,805 円)

- ・管理体制  
平成 29 年度より本会にて、直接管理。  
場長 1 名 (倉吉体育文化会館館長が兼務)  
次長 1 名 (倉吉体育文化会館次長が兼務)  
職員 2 名
- ・サイクリングフェスティバルの開催  
春のサイクルフェスタ  
期 日 令和 3 年 4 月 25 日 (日)  
会 場 倉吉自転車競技場  
秋のサイクルフェスタ  
期 日 令和 3 年 10 月 24 日 (日)  
会 場 倉吉自転車競技場

<収益2>自動販売機設置事業 1,502 千円 (4,506 千円)

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

(単位：千円)

	布勢総合運動公園	鳥取産業体 育館 鳥取屋内ブ ール	皆生市民プ ール	米子産業体 育館	武道館	合計
収入	7,545 (9,200)	2,606 (2,606)	570 (1,300)	2,100 (2,050)	2,810 (2,750)	15,631 (17,906)
支出	754 (3,233)	260 (260)	57 (588)	150 (150)	281 (275)	1,502 (4,506)
収益	6,791 (5,967)	2,346 (2,346)	513 (712)	1,950 (1,900)	2,529 (2,475)	14,129 (13,400)

( ) 内は前年度数字

<収益2>自動販売機設置事業 1,228,005 円 (3,763,308 円)

自動販売機設置状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日実績)

(単位：円)

	布勢総合運 動公園	鳥取産業体 育館 鳥取屋内ブ ール	皆生市民プ ール	米子産業体 育館	武道館	合計
収入	6,986,632 (5,796,897)	1,484,759 (1,054,851)	676,516 (871,847)	998,813 (890,436)	2,341,377 (2,177,762)	12,438,097 (10,791,793)
支出	703,859 (2,863,714)	130,399 (95,870)	90,128 (524,830)	90,782 (80,929)	212,837 (197,965)	1,228,005 (3,763,308)
収益	6,282,773 (2,933,183)	1,304,360 (958,981)	586,388 (347,017)	908,031 (809,507)	2,128,540 (1,979,797)	11,210,092 (6,959,016)

( ) 内は前年度数字